

## (8) 機械器具製造業

### ◆ 概要

第二次世界大戦後、本市において急速に成長してきた機械関連の製造業は、エレクトロニクス、精密機械分野で国際的な競争力を持つ中堅企業の群生を中心として発展を続け、今では繊維に代わる京都市の代表的産業として定着している。

ここでは、産業中分類の一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業の6業種を合わせて、機械器具製

造業とする。

平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は540所で、前回（平成18年）比較では、20所減少（対前回増加率△3.6%）している。従業者数は29,310人で、前回（平成18年）比較では、1,191人の増加（同4.2%）となっており、製造品出荷額等は1兆435億58百万円で、前回（平成18年）比較では、1,035億51百万円の増加（同11.0%）となっている。京都市の製造業に占める機械器具製造業の割合は、事業所数が17.4%、従業者数は39.4%、製造品出荷額等は37.1%となり、従業者数、製造品出荷額等ともに、

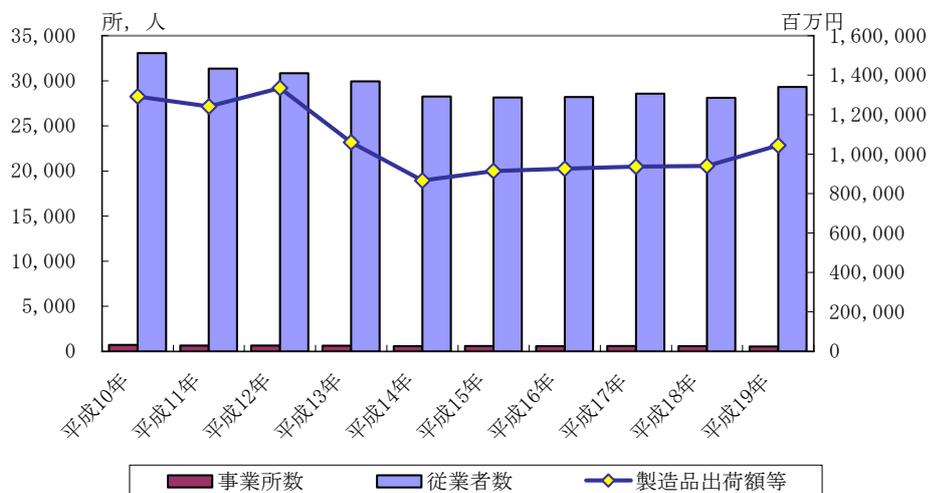
表Ⅱ-3-8-1 機械器具製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

（単位：所、人、百万円）

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成10年	706	33,066	1,292,201
平成11年	642	31,364	1,240,931
平成12年	660	30,866	1,335,260
平成13年	626	29,929	1,060,130
平成14年	578	28,281	866,161
平成15年	590	28,158	914,619
平成16年	566	28,200	925,372
平成17年	588	28,584	936,229
平成18年	560	28,119	940,007
平成19年	540	29,310	1,043,558

資料：京都市総合企画局「平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

図Ⅱ-3-8-1 機械器具製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

市内でも大きくなっている。

平成 10 年からの推移を見ると、事業所数は増減を繰り返しつつも緩やかな減少傾向で推移している。従業者数は平成 15 年から横ばいで推移していたが、平成 19 年になって増加している。製造品出荷額等は平成 14 年から緩やかな増加傾向にあり、平成 19 年も増加で推移している〔表Ⅱ-3-8-1、図Ⅱ-3-8-1〕。

#### ◆ 市内の機械器具製造業の特色

機械器具製造業の特色を業種細分類別で見ると、事業所数は一般機械器具製造業の半導体製造装置製造業が 37 所で最も多く、一般機械器具製造業（260 所）全体の 14.2%、機械器具製造業全体の 6.9%を占めている。

従業者数では、精密機械器具製造業の分析機器製造業が 3,974 人で最も多く、精密機械器具製造業（7,343 人）全体の 54.1%、機械器具製造業全体の 13.6%を占めている。

製造品出荷額等でも、従業者数と同様に精密機械器具製造業の分析機器製造業が 1,884 億 27 百万円で最も多く、精密機械器具製造業（2,586 億 33 百万円）全体の 72.9%、機械器具製造業全体の 18.1%を占めている〔表Ⅱ-3-8-2〕。

#### ① 一般機械器具製造業

一般機械器具製造業は、平成 19 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 260 所、従業者数は 7,442 人、製造品出荷額等は 2,118 億 75 百万円となっており、事業所数で機械器具製造業の 48.1%を占めている。

業種細分類別では、半導体製造装置製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっている。

#### ② 電気機械器具製造業

電気機械器具製造業は、平成 19 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 117 所、従業者数は 6,864 人、製造品出荷

額等は 1,958 億 33 百万円となっており、事業所数、従業者数は一般機械器具製造業に次いで多くなっている。

業種細分類別では、開閉装置・配電盤・電力制御装置製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっている。

#### ③ 情報通信機械器具製造業

情報通信機械器具製造業は、平成 19 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 5 所、従業者数 276 人、製造品出荷額等は 113 億 98 百万円となっており、6 業種の中では最も規模が小さくなっている。

#### ④ 電子部品・デバイス製造業

電子部品・デバイス製造業は、平成 19 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 38 所、従業者数は 3,944 人、製造品出荷額等は 2,000 億 59 百万円となっている。

業種細分類別で見ると、事業所数はその他の電子部品製造業が最も多く、従業者数は集積回路製造業が最も多く、製造品出荷額等はプリント回路製造業が最も多くなっている。

#### ⑤ 輸送用機械器具製造業

輸送用機械器具製造業は、平成 19 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 37 所、従業者数は 3,441 人、製造品出荷額等は 1,657 億 60 百万円となっている。

業種細分類別では、自動車部分品・附属品製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっており、特に、製造品出荷額等は、輸送用機械器具製造業の 95.1%を占めている。

#### ⑥ 精密機械器具製造業

精密機械器具製造業は、平成 19 年工業統計調査結果報告（従業者 4 人以上の事業所）によると、事業所数は 83 所、従業者数は 7,343 人、製造品出荷額等は 2,586 億 33 百万円となっており、6 業種の中で

最も製造品出荷額が大きくなっている。

業種細分類別では、分析機器製造業が事業所数、  
従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっ  
ている。

表Ⅱ-3-8-2 機械器具製造業の主な産業（細分類）別事業所数，従業者数，製造品出荷額等  
(単位：所，人，百万円，%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		
		構成比		構成比		構成比	
<b>機械器具製造業</b>	<b>540</b>	<b>100.0</b>	<b>29,310</b>	<b>100.0</b>	<b>1,043,556</b>	<b>100.0</b>	
	<b>260</b>	<b>48.1</b>	<b>7,442</b>	<b>25.4</b>	<b>211,875</b>	<b>20.3</b>	
一般機械器具	半導体製造装置製造業	37	6.9	1,706	5.8	58,397	5.6
	その他の一般産業用機械・装置製造業	29	5.4	679	2.3	19,070	1.8
	<b>117</b>	<b>21.7</b>	<b>6,864</b>	<b>23.4</b>	<b>195,833</b>	<b>18.8</b>	
電気機械器具	開閉装置・配電盤・電力制御装置製造業	27	5.0	1,955	6.7	61,485	5.9
	その他の産業用電気機械器具製造業(車両用・船舶用を含む)	13	2.4	318	1.1	7,103	0.7
	<b>5</b>	<b>0.9</b>	<b>276</b>	<b>0.9</b>	<b>11,398</b>	<b>1.1</b>	
情報通信機械器具	その他の通信機械器具・同関連機械器具製造業	2	0.4	247	0.8	χ	χ
	パーソナルコンピュータ製造業	2	0.4	15	0.1	χ	χ
	<b>38</b>	<b>7.0</b>	<b>3,944</b>	<b>13.5</b>	<b>200,059</b>	<b>19.2</b>	
電子部品・デバイス	その他の電子部品製造業	16	3.0	263	0.9	2,138	0.2
	抵抗器・コンデンサ・変成器・複合部品製造業	10	1.9	153	0.5	2,561	0.2
	<b>37</b>	<b>6.9</b>	<b>3,441</b>	<b>11.7</b>	<b>165,760</b>	<b>15.9</b>	
輸送用機械器具	自動車部分品・附属品製造業	18	3.3	2,921	10.0	157,652	15.1
	その他の航空機部分品・補助装置製造業	8	1.5	145	0.5	2,038	0.2
	<b>83</b>	<b>15.4</b>	<b>7,343</b>	<b>25.1</b>	<b>258,633</b>	<b>24.8</b>	
精密機械器具	分析機器製造業	16	3.0	3,974	13.6	188,427	18.1
	その他の計量器・測定器・分析機器・試験機製造業	15	2.8	533	1.8	12,353	1.2

資料：京都市総合企画局「平成19年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

なお、細分類については主なものを取り上げている。

注：該当事業所が特定されるおそれのある箇所は、「χ」で表記。